

別紙

1. 事業評価総括表

単位：円

番号	措 置 名	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	雲南市	930,960	930,960	

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登地内		
交付金事業の概要		雲南市木次町における電源立地地域対策交付金対象地区である西日登地内の引野自治会では、生活道路として利用されている道路は自動車ですれ違えないほど道幅も狭く、日中は人通りが少なく、夜間の防犯街路灯は、暗く危険で、怪我・転倒の可能性があり、一部蛍光灯の街路灯をLED化することが必須であります。 また、水路については農業用で活用されていますが、水路の一部（20m）が両側約4mほどの高さの泥の法面で囲まれた開渠部分となっているところがあり、降雨時には、オーバーフローし、土砂が流入した状態となり、蓋をすることが必要です。そして、水路管理道は住宅地が密集した中央に位置し、幅1.2m、長さ25mほどあり、農業用水路管理道としてまた、生活道としても活用されています。この管理道は、荒天時や農作業時に滑りやすく、踏み、怪我・転倒の危険性があり、地元で7～8年かけて12mをコンクリート舗装化していましたが、残り13mをコンクリート化することで、この危険性が減ります。このような生活環境を改善するため当該自治会の環境整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付します。具体的な環境整備は、自治会施設等整備補助金：防犯灯LED化 10基、水路蓋設置（コルゲート管φ400 T=1.6mm 亜鉛メッキ）編鋼版（600×600）の設置、管理道のコンクリート舗装工 L=13.0m、W=1.2m（補助金額930,960円）です。		
総事業費（円）		930,960	交付金充当額（円）	930,960
交付金事業の成果目標		引野自治会は、周辺に水力発電所（日登発電所）があり、昭和26年11月の運転開始以後約66年とまた運転開始以前の発電所完成時までの長きにわたり発電所建設に貢献してこられました。現在では、主たる農業者は19名、65歳以上の高齢者が11名で高齢化率は57.9%となっており実に2人に1人が高齢者で構成される自治会です。 子どもの通学路や高齢者が通行する生活道路として利用されている道路は発電所運転以来、日中は関係車輛の往来がありますが、上記（交付金事業の概要）のとおり、道幅が狭く自動車がすれ違いにくい状況です。また、夜間は人通りが少なく、18基の防犯街路灯のうち、8基は平成27年度にLED化をしていますが、残り10期は蛍光灯のままであり、暗く怪我・転倒の危険性があります。また、地上から約5m上の電柱に街路灯が設置しており、頻繁に交換が必要な蛍光灯は上記のとおり高齢化のため作業負担が大ききた危険でもあります。 水路については、堰堤から取水し農業用水路として活用されていますが、一部両面高さ約4mほどの法面に囲まれた開渠部分となっているところがあり、降雨時にはオーバーフローし、土砂が流入するため不定期な清掃作業と年2回以上の定期的な点検清掃をしないと農繁期に下流側へ円滑に取水できませんが、コルゲート管の蓋をすることによりこの作業が解消されます。 また、水路管理道は上記（交付金事業の概要）のとおり、住宅地が密集した中央に位置し、幅1.2m、長さ25mほどあり、農業用水路管理道としてまた、生活道としても活用されています。この管理道は、荒天時や農作業時に滑りやすく、踏み、転倒の危険性があり、地元で7～8年かけて12mをコンクリート舗装化していましたが、残り13mをコンクリート化することで、この危険性が減ります。また、残り13m以上の部分は、泥のため、降雨時には管理道から側溝へ泥が流入していましたが、コンクリート化することで、それを防ぐ効果もあります。以上の3点を環境整備の実施目標とすることで引野自治会の生活環境の改善が図れます。		
交付金事業の成果指標		引野自治会の防犯街路灯は平成27年度に8基をLED灯に切り替えてきましたが、10基を蛍光灯からLEDにすることにより、配備率は44%から100%となります。また、蛍光灯からLED化することで消費電力約60%節減と耐用年数が5～7倍と延び、環境負荷や維持管理の取替え回数が減り、作業負担軽減が図れ、明るく防犯街路灯が照らされることにより怪我・転倒がなくなり、安心・安全が担保でき、防犯意識の高揚にも繋がります。 水路については、開渠の部分がコルゲート管で蓋をされることにより、土砂の流入を防ぎ年2回以上の定期清掃と、降雨による不定期の清掃がなくなり、泥上げ作業の負担軽減と農繁期には確実に下流部への取水が可能となります。 また、水路管理道については、上記（交付金事業の成果目標）のとおり、残り13mをコンクリート化することにより、未舗装部分が解消され、舗装率100%となります。これにより、水路の泥上げが不要となり、側溝の清掃作業の負担軽減と、荒天時や農作業時に踏みやすくなり転倒の可能性があった管理道が怪我・転倒や滑ることなく通行できます。以上の環境整備により、引野自治会の皆さんが安心・安全に生活できることと、農業従事の際の作業効率が上がり、地域の環境衛生の保全にも繋がります。また、これによる農業従事者に対する聞き取り調査により満足度を確認します。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、①防犯灯10基のLED化、②コルゲート管による水路蓋設置、編鋼板設置、③水路管理道のコンクリート舗装の3点について環境整備事業を実施することができました。交付金事業の成果及び評価につきましては引野自治会の常会を通じて聞き取り調査を行いました。調査結果につきましては、以下のとおりです。 ①防犯灯10基のLED化については、当自治会の全ての防犯灯（18基）がLED化され、夜間、周囲が明るく照らされることにより、転倒がなくなり、子どもの通学路又は、生活道路として安全に通行ができるようになりました。また、消費電力も節減でき、満足の声をいただきました。そして、耐用年数も5～7倍延びることによって、維持管理部分の取替え回数の減少も期待できます。 ②コルゲート管による水路蓋については、用水路に蓋をしたため、農繁期に土砂流入の心配をする必要がなくなり、不定期な側溝清掃が解消され、これにつきましても、満足の声をいただきました。 ③水路管理道のコンクリート舗装化につきましても、管理道から側溝への土砂の流入がなくなり、泥上げ清掃の負担軽減と、管理道をコンクリート舗装することで、管理道が滑ることがなくなり、踏み・転倒が無くなったことによって、満足の声をいただきました。以上の本交付金を活用した環境整備事業により引野自治会の皆さんが安心・安全に生活ができるようになり、地域住民の本交付金（電源開発）に対する理解・協力を得ることができました。		
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
補助金交付		補助		引野自治会
—		—		—
計				
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度
				平成33年度